

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.103 2003. 4

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集 びんの多用途利用



● 教えて聞かせて — P3



● リサイクルデザイナー — P6

● エコクッキング・ことば博士 — P7

● 「リサイクル教室」出前講師を派遣します・環境絵日記 — P8

びんの多用途利用

びん再生の道は3通り

幼い日、胸に大きな一升瓶をかかえ酒屋さんにおつかいに走った記憶のある人も、今ではそう多くはないでしょう。そう、かつて、びんは何度でもくり返して使う貴重品でした。時代は移り、現在、横浜市では分別収集したびんのすべてを砕いてガラスの粒にし、新たに加工しています。月間約1600トンも集められるびんは、一体どんな物に生まれ変わっているのでしょうか。



集められたびんのたどる道には、次の**3通り**があります。



1 リターナブルびんとして再使用

びんは3500年もさかのぼる昔から人類と共にありました。大切にくり返し洗浄し使用される（リターナブル）のは、びんにとって当たり前のことだったのです。最もエネルギーや資源の浪費が少なく、環境への影響もおさえられるこのシステムは、リサイクルなどという言葉さえなかった時代から人々の暮らしの中にしっかりと根を下ろしていました。

生協などの団体がガラスびん容器の再使用の普及を推進しているほか、ビ

ールびんや宅配用牛乳びんなど、現在でも限られた範囲内で再使用のルートは確立していますが、その量は決して多くはありません。持ち運びがたいへんで面倒だからとか、近くにひきとってくれる酒屋がないなどの理由で、洗うだけで再使用できるにもかかわらず砕かれてしまうびんをどう救っていくかが問題です。平成12年には、従来品よりも3割から5割も軽量化された超軽量びんが開発され、現状打開の一手として注目を集めています。



2 もう一度びんに加工して再利用

前出のリターナブルびんは、たとえばビールびんの場合30回以上もくり返し使われますが、これに対し、1回だけ使われたあと砕かれてしまうのがワンウェイびん。このワンウェイびんは、無色、茶色、その他の色に分けられ細かいガラス粒（カレット）に姿を変え、びん、その他に再加工されています。現在、ガラスびんの原料の約80%がこのカレットです。カレットの使用率を上げれば、けい砂、石灰石、ソーダ灰などの貴重な天然資源を節約できます。原料を100%カレットにすれば、びんの生産にかかるエネルギーは25%カットでき、二酸化炭素の排出量は半分に減らせると言われています。

近年、環境への負荷をおさえ地球温暖化防止にも役立つカレットの使用量を増やすため、かつてはびんの原料としては再使用が難しかった“その他の色”のカレットについても、びんへの道が探られてきました。平成3年に誕生したエコロジーボトルは、その他の色のカレットを90%以上使用したもので、品質は無色、茶色に限られていた従来の再生ガラスびんと何ら変わりありません。



3 びん以外の物に加工する多用途利用

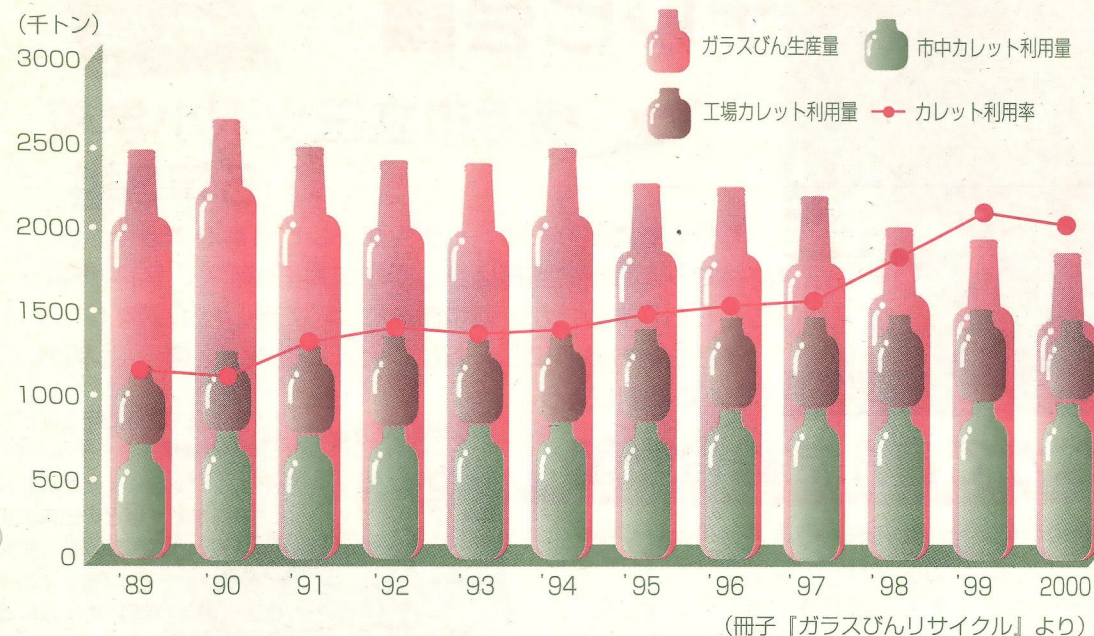
エコロジーボトルの登場でびんへの再加工の道は広がりましたが、それだけでは大量に発生するカレットは消化が困難です。びんを無駄なく利用するためには、びんという形にとらわれない全く違った分野への応用が必要とされています。

たとえば建築材料。カレットを溶かして繊維状にしたグラスウールは、断熱材などに姿を変えています。カレットに粘土を混ぜて焼き上げたタイルは、建物の外壁仕上材として重宝されています。さらに、今後ますます用途の拡大が見込まれるのが土木材料の分野です。特に注目されているのが、アスファルト舗装への利用。表層部の材料にカレットを加えることにより、路面が光を反射し、夜間や見通しの悪い交差点でもクルマや人が見やすくなり、事故防止に役立つのです。補修の際はアスファルトをはがして砕き、再びアスファルト舗装の材料として利用できるとあり、かなりのリサイクル優等生と言えそうです。他に、公園などのカラー舗装への利用や、防



●ブロック塗装への利用

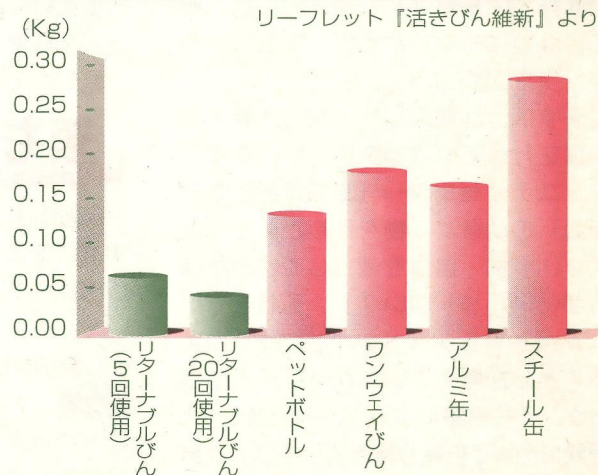
ガラスびん生産量・カレット利用量の推移



平成9年ごろを境にびんの生産量はグッと減り続けています。同じころ、長く平行線を保ってきたスチール缶の生産量も落ち、アルミ缶はそれまでの増加傾向に歯止めがかかり徐々に下向きに。

対照的に、ペットボトルは急増しました。容器包装資材の世代交代を如実に表しているともとれる結果です。そんな中、カレットの利用量は毎年、少しずつですが増加しており、市民のリサイクル意識の浸透ぶりがうかがわれます。

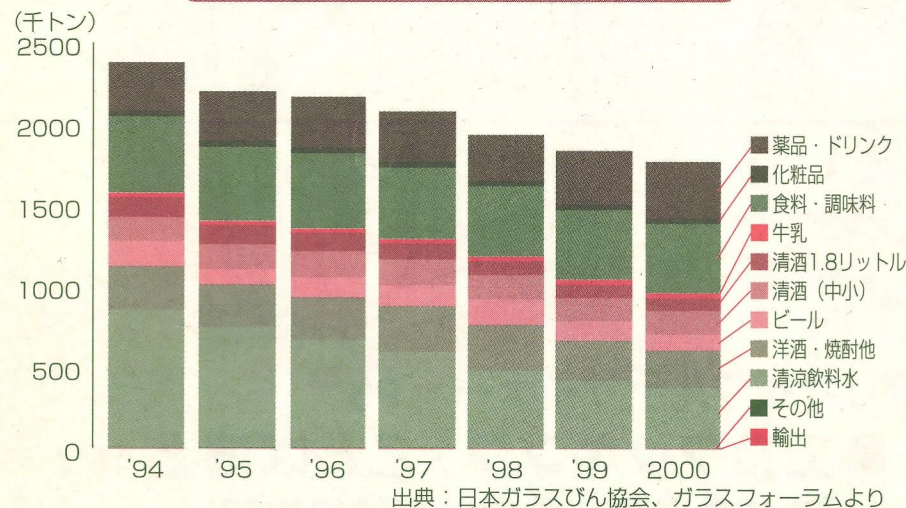
“エネルギー消費量の比較” “地球温暖化物質・二酸化炭素発生量”



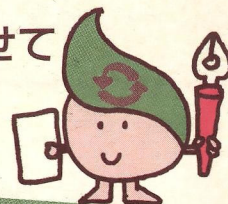
製品の原料採取から廃棄、リサイクルまでの全過程で環境に対する影響はどうなっているのかを比較すると、エネルギー消費量も二酸化炭素発生量も、他の容器包装資材に比べてびんは非常に低いことがわかります。びんのなかでも、ワンウェイびんよりリターナブルびん。高いコストをかけて環境を汚しながらワンウェイびん（カレット）を生むよりも、リターナブルびんの利用を推進すべきなのではないでしょうか。

現在、99%が再利用されているビールびんは、保証金制度を設けたための成功と言えるでしょう。このような、びんをお店に返せばお金が戻るデポジット制を法制化する、再使用普及商品（牛乳、ビール、清涼飲料、食酢など）のメーカーに課徴金を導入するなどの様々な手段を講じ、再使用率のアップを図るのが得策と言えます。

ガラスびんの用途別出荷数量の推移



出典：日本ガラスびん協会、ガラスフォーラムより



南伊豆の小学生との テレビ会議

3月14日

横浜市立三ツ沢小学校
5年3組

いやはや、隔世の感であります。小学生がテレビ会議をするらしい、と聞き早速訪ねてみました。当日は少し回線の調子が悪く、音声聞き取りにくいこともありましたが、環境問題についてテレビ会議をしたという経験は、子どもたちの心にちょっぴり大人に近づいた誇らしい記憶として残っていくことでしょう。

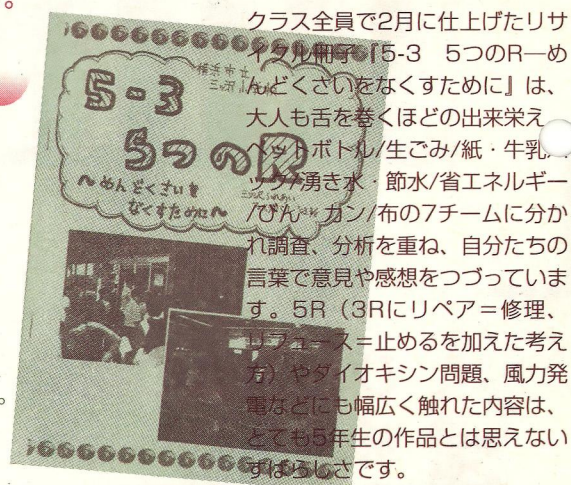
人の輪のながで育んだ総合学習

児童、教職員、父母が協力しあって日ごろから熱心に環境問題やリサイクル活動に取り組んでいる三ツ沢小学校。なかでも5年3組は総合学習のテーマとしてリサイクルを選び、一年を通じて様々な角度から調べ学習や研究を続けてきました。この分野に力を入れる担任・野間先生の指導はもちろんのこと、そこには他にもたくさんの人たちの関わりがありました。

まずは、地域のリサイクル活動への支援を行っている神奈川リサイクルコミュニティセンター（エコライフかながわ）の助言。「物を作りかえることより、“物”自体を減らしていったほうがいいんじゃない?」。それまでペットボトルをシャベルなどに作りかえることしか考えていなかった子どもたちが、その言葉によって方向転換し「1週間に1本でも買う量を減らそう」と努力するようになりました。

もうひとつは、南伊豆町立三浜小学校の5年生10名との学びあいです。1学期に体験学習のため同町の子浦を訪ねた際、一緒にカヌーに乗ったのがふれあいの始まりでした。以来リサイク

ルを共通の学習テーマとして掲げ、町や家庭の様子をレポートして比較し、意見を交換してきました。1回は音声だけのやりとりでしたが、テレビ会議はこれで4回目。一年の学習成果を吟味しあう今回の会議の議題は『地球レスキュー隊・世界を守るために自分たちにできること』。壮大な言葉づかいから、子どもたちの意気込みが伝わってきます。



親も耳が痛いほどの当を得た意見続出

5時間目の視聴覚室。訪ねてみると、すでにモニターには三浜小の教室が映し出されていました。回を重ねたとはいえ、先生の回すカメラやモニターに少し緊張気味な様子で授業開始です。

三ツ沢・チェック表（各自が3日間家庭ごみや資源となるものの量を種類別に記録する表）をつけてみたら、ペットボトルやビニール袋が増えていたので、これからは減らしていきたいです。

三浜・私たちは、ごみを減らすためにはお菓子をあまり買わない、むだ遣いをしない、お父さんにはタバコやカン入りのビールを減らしてもらおうと考えました。

三ツ沢・スーパーの袋はなるべく断り

ましょう。もしもらってしまったら、何度も活用してほしいです。

三浜・ぼくの家は魚屋です。みんながお皿を持って買いに来るのでうちのやり方はいいと思います。

三ツ沢・ぼくたちは省エネグループだけど、環境のことを勉強したら電気をつけっぱなしをやめるようになりました。

三浜・うちのお母さんは洗い物をするとき水を流しっぱなしにするので、この前「止めて」と頼みました。

三ツ沢・そうしたらどうなりましたか。

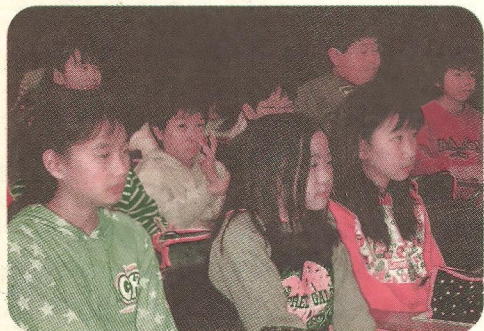
三浜・少しは止めてくれたけど、まだやっています。

三ツ沢・水を節約するのは大切なことなので、これからも続けて下さい。

名残り惜しさに「バイバイ」止まず

ひとしきり意見交換が済むと、迫り来るチャイムの時を前に名残りを惜しむかのようなおしゃべりが始まりました。「三ツ沢小はクラス替えあるんですか。うちはありません」「いいなあ」などなど。

春から始まった交流は授業のみならず個人的な文通にも及んでいるだけに、寂しさもひとしおでしょう。なかなか止まない「バイバイ」の声。どうやら、この先もずっと交流は続きそうです。



▲ 熱心に授業を聞く子どもたち

横浜市G30行動計画 平成15年度事業紹介

横浜市の一般廃棄物処理基本計画が「横浜G30プラン」と改定され、「横浜G30行動宣言～350万人の挑戦～」として発表されました。この中期政策プランの15年度の事業の中から3事業についてご紹介します。

分別収集の拡大

いままで家庭ごみになっていた資源がリサイクルされます

家庭ごみの減量化・リサイクルをより一層推進するために、現在実施している、家庭ごみ・粗大ごみ・缶・びん・ペットボトル等に新たに、食品トレイ、卵パック、レジ袋などの「その他プラスチック製容器包装」、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、紙パックなどの「古紙」、「古布」、「スプレー缶」、ガラス、陶磁器くずなどの「不燃物」を分別収集品目に追加します。又、分別収集拡大の本格実施に向けて、市内全区でモデル地区を定め、10分別15品目の分別収集モデル事業を実施します。

モデル事業

実施時期：平成15年10月予定

対象世帯数：約40,000世帯（1区あたり2,200世帯）

現行 5分別 7品目



実施後 10分別 15品目



新たに収集する品目

●問い合わせ
環境事業局 家庭系ごみ対策課
TEL 671-3819

生ごみコンポスト化推進事業

家庭用電気式生ごみ処理機の購入助成があります

家庭から出されるごみのうち約30%は台所などから排出される生ごみです。市民一人ひとりが、食べ残しをしないなど、生ごみの発生量そのものを減らすとともに、資源化をすすめるための事業です。

家庭用電気式生ごみ処理機は、マンション等の集合住宅でも取り組めることもあり、市民からの要望の高いものです。家庭での生ごみの減量化・堆肥化を促進するために「家庭用電気式生ごみ処理機」の購入助成をします。

- 助成基数：1,000基（1世帯1基）
- 助成額：購入額の2分の1、上限20,000円
- 募集期間：4月から6月30日（月）まで（6月30日の消印有効）
- 申込方法：往復はがきに郵便番号・住所・氏名・電話番号と「電気式生ごみ処理機購入助成希望」と記入し、応募して下さい。

※応募者多数の場合は、抽選となります

●申込先
〒231-0017（郵便番号のみで可）横浜市環境事業局 家庭系ごみ対策課
TEL 671-2553

横浜市G30行動計画 平成15年度事業紹介

資源デポ全区展開事業

資源回収ボックスが増え、リターナブルびんを生かせるようになります

市民が分別した資源物をいつでも持ち込める回収拠点として、資源回収ボックスがあります。地区センターなど市民利用施設に設置され、その施設の開館時間中ならいつでも新聞、雑誌・雑紙、牛乳パック、古布の4品目を持ち込むことができます。

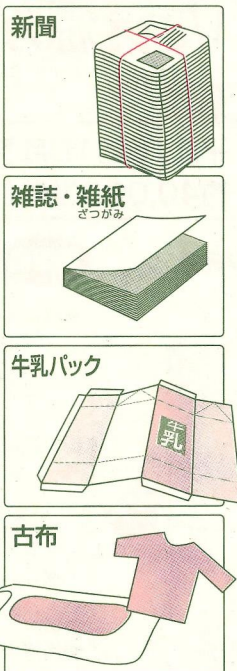
この資源回収ボックスを現行の5区53カ所から15年10月に市内全区100カ所に設置拡大し、分別排出が便利に行われるようにするとともに、紙類や布類など資源物の回収量の増大を図ります。あわせて、あらたにリターナブルびんを回収品目に加え、びんのリユース（再使用）を促進します。

15年10月から

実施後

18区100カ所
市民利用施設などに設置

現行 5区 53カ所



リターナブルびん



●問い合わせ
環境事業局 家庭系ごみ対策課
TEL 671-2553

●リサイクル掲示板●

センターリサイクル

●4月6日(日)

・泉区センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所

TEL 803-5191

●4月5日(土)

・センターリサイクルinせや

瀬谷区 ニツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所

TEL 364-0561

●4月13日(日)

・かながわセンターリサイクル

神奈川区 反町公園

(神奈川区役所側)

時間：午前10:00～午後1:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ

TEL 413-3196

●4月20日(日)

・旭区センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施

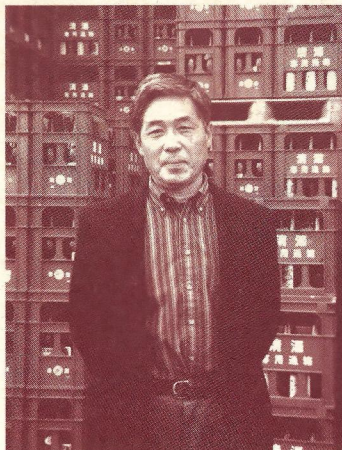
回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所

TEL 953-4811



株式会社 置田商店 代表取締役 置田耕治さん

1946年(昭21年)12月14日生まれ、56歳。横浜市出身。妻、長男、次男、母の5人家族。趣味は登山。昨年は妻と北海道の大雪山に登る。自然を満喫することでストレスを発散。「苦勞をかけたから」と妻を思いやる夫。理想の熟年カップルである。



リユースびんの厳しい現実

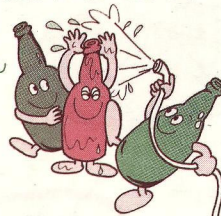
「ビールびんのすごいところはね、管理、回収まですべて企業がお金を負担していることなんです。税金を1円も使ってない。すごいでしょ」。置田さんにそう言われ、横浜市が週1回、回収している缶、びん、ペットボトルのことが頭にうかびました。昔からなじみのある、そんな優れもののびんビールは、缶ビールや発泡酒に押され生産量は減る一方です。

時の運と横浜ならでは地の利をいかして

置田さんの父親がびん商を始めたのは戦後まもなく。近くに米軍の宿舎があった頃です。そこから出る大量のビールびんを集めました。びんはとても貴重でした。桜木町に操車場があったことも幸いしました。「時の運と地の利があったんですね。生まれた時からまわりはびんだらけだったよ」

その後、酒問屋の勧めで運送業も兼ねるようになった置田商店は、ビールの空

びんを集め、運賃という付加価値をつけてビール会社に運ぶことを始めます。ビール会社の資産であるビールびんを集め運ぶことは、びんビールが全盛を極めていた頃は大いに実入りのある仕事でした。しかし、びんビールの需要が減るにつれ、次第に苦しい状況に追い込まれていきます。「集めたくたって、品物が無い」と今、置田さんは言います。



多くのリターナブルびんがワンウェイびんとして扱われている

この10年、リユースびんは缶やペットボトル、紙パックに猛烈な勢いでシェアを奪われています。「ペットボトルは割れない、軽い、かさばらない。しゃくけど、これは負けてるね」時代は技術革新で変わっていくから仕方がないと思いつつも、大量生産、大量消費に慣れてしまっている日本人に対して、少し不満はあります。「『足るを知る』それで十分じゃないのかな」地道に暮らすのが日本人の良さでもありました。

妻の明美さんはドイツに行って驚きました。「ドイツにもペットボトルや缶はあ

ります。でも、それを利用するのはアウトドアや旅行の時だけ、自宅では、びんビールだし飲み終わったら返していますね」

この「返す」ことが、日本では徹底できていません。置田さんの所では1年で約15万本もの返ってくるはずのリユースびんが返らず、空箱だけが返されています。つまり15万本ものリユースびんが、再利用されずに破棄されるかワンウェイびんとして扱われていることになります。「カレットにして溶かしてまたびんを作るより、洗ってリユースする方が環境負荷はずっと少ないと思うよ」リユースびん

は10回、20回と使うことに意味があります。

循環型社会を目指して様々な取り組みがなされる一方で、こうして環境負荷の少ないリユースびんが年々少なくなっていく現実を、私たちはどう受け止めたらよいのでしょうか。「最初は抵抗があっても便利な物に慣れてしまうと、平気になってしまいますね」と明美さん。便利で手軽な物を求めてしまう私たちの暮らしをもう1度見直し、「価値観を変えていく」が必要そうです。子ども達への教育としつけも大切なことだと置田さんは考えています。

びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレトペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

トイレトペーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレトペーパー

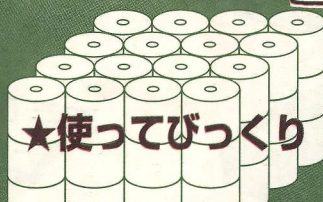


びっくり その2

手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレトペーパー(シングルで60m)の2倍以上の長さ(130m)です。「使っても使ってもなくならないんですね」との声も寄せられるほど(もちろんいつかはなくなるけど)。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。パーキンバルブのティッシュよりお肌にやさしい! 愛用者の某リサイクルデザインの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレトペーパーだと大丈夫なの」(実話です)。



★使ってびっくり

シングル芯なし130メートル1パック(6ロール)あたり価格420円

注文受付は1ケース(48コ入=6コ入りパック×8)より1ケース 3,360円(配送料込み)

※消費税・振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得!

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

お花見を楽しもう

春が、近づいてきました。お花見シーズン、到来です。桜の花の下で、みんなであそびたい、お弁当は、会話も弾み、格別おいしい、楽しい時間です。

以前、お料理教室で、10代、20代の生徒さんと、朝からお花見用のお弁当を作り、そのまま近くの公園に持参し、お花見を楽しんだことがあります。日頃のお教室では、エコCookingの大切さを語り、実習したところが、今、興味のなさそうなみんなも、一歩外に出てあれこれ体感すると、ごみ分別のこと、人の動き、自然のすばらしさ、手作りの良さと、生徒さんそれぞれの学びがあったようです。

「百聞は一見にしかず」とは、このことでしょうか？ 体験のごさを、私が学ばせていただいたような……そんな一日でした。

環境を守るには、小さな一人一人の責任が、任せられていることを、食を通して学んでいただけたことが本当にうれしく、忘れられない私の思い出となりました。

食の時間は、毎日繰り返しやってきます。春休み、是非、こんなあたりまえの時間を大切にしたいだけだと、思います。お弁当を家族で作る、お出かけください。

大根飯入りいなりずし

<作り方>

1) 油揚げはさっと熱湯をかけてから、

2) 米はbを加え普通に炊く
3) 炊けたら熱いうちに酢をまぜる

4) 冷めたらごま 大根葉を加える

5) 1)の油揚げの汁気を絞り、ごはんを詰めて、出来上がり

<材料>

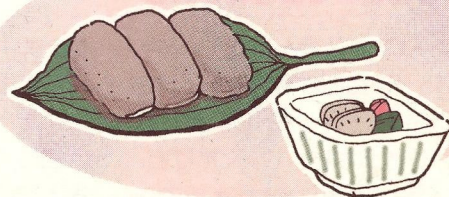
油揚げ (いなりずし用) 12枚

a
出し汁 1cup
黒砂糖 大 2
みりん 大 3 1/2
しょうゆ 大 3 1/2

b
米 2cup
水 1 4/5cup
大根せん切り 100g
さくらえび 10g
酒 ごま油 少々
塩 小 1/3

酢 大3
ごま 大2
大根の葉 (さっとゆがいてみじん切り) 1/4cup

aの調味料で、落し蓋をして、汁気がなくなるまで、煮る



ことば博士 駒井 克久

《裾物三品》

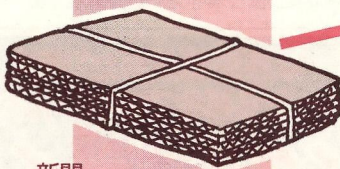
皆さんは「裾物三品」という言葉を知っているでしょうか？

ちょっと聞き慣れない言葉ですが、「裾物三品」とは古紙のリサイクルで使う言葉で

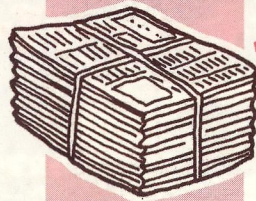
「ダンボール・新聞・雑誌と雑紙」という三種類の紙のことを表した言葉です。

この裾物三品は、古紙のリサイクルの半分以上を占めていて、ダンボールは主にダンボールに、新聞は主に新聞・雑誌・台紙に、雑誌は主に中芯というダンボールの間の紙にリサイクルされています。

ダンボール



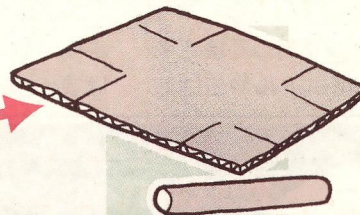
新聞



雑誌と雑紙



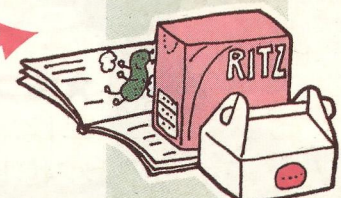
ダンボール・紙筒など



新聞・雑誌・台紙など



中芯・ボール箱など



その他の紙では色上・残紙・見当・上白・模造とまだまだ紙の種類はありますが、この裾物三品は家庭の中でよく使われる紙だけあって、より多くリサイクルされている紙です。

しかし、家庭で使われる紙類の約30%ぐらいはまだごみと一緒に捨てられていますので、皆さんも分別・リサイクルにご協力下さい。

リサイクル組合を背負って立つ、ジュニア部会のメンバーが、リサイクルの現場で使われている用語について解説します。



リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。

リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ

1.ご住所 2.お名前 3.電話番号

4.「リサイクルデザインサポーター 申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

横浜市資源リサイクル事業協同組合

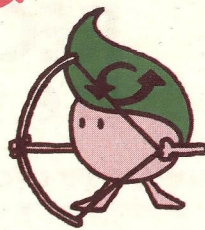
電話 045-316-4050

FAX 045-316-6050

Eメールmail@recycledesign.or.jp

●参加資格・条件

- 1.横浜市内にお住まいの個人および団体(集団回収実施団体・市民団体など)の方
- 2.私たちの活動をご理解、ご支援していただける方
- 3.ご本人の入会意思と、正組合員の推薦
- 4.脱退は原則自由です
- 5.入会金や年会費はありません



「リサイクル教室」 出前講師を派遣します

リサイクル組合の組合員が、学校でリサイクルの話をする「出前講師」になったきっかけは、ある生徒さんがリサイクルデザインに載った、ある組合員の記事を読んで、「この人の話が聞きたい」と先生に希望したことから始まっています。

リサイクル組合では、地域や学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣します。ご希望の方はぜひご相談ください。

問合せ TEL 045-316-4050

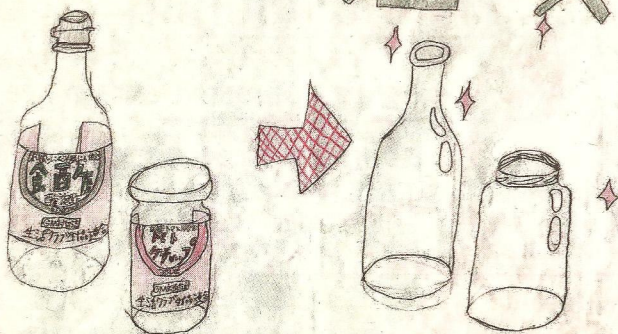
2002～03年 出前講師派遣状況

日時	学校名	対象
5/29	南区六ツ川小学校	4年生
6/13	緑区長津田小学校	4年生
9/26	旭区上白根小学校	4年生
11/13	戸塚区戸塚中学校	全校生徒
11/25	緑区緑園西小学校	5年生
12/4	南区共進中学校	全校生徒
2/14	瀬谷区相沢小学校	6年生
2/17	神奈川区白幡小学校	4年生
2/18	港南区小坪小学校	5年生

環境絵日記

2002年第8回リサイクルデザインフォーラムの環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。

ビンのリユース



深谷小学校4年 三好 暖
8月27日 火曜日 天気 はれ
リサイクルについて、インターネットで調べました。
一年間に家庭から出される「ゴミ」は、およそ5115万トン(8年前のデータです)で、東京ドームのおよそ38杯分に相当します。この「ゴミ」を普通の2トントラックに積み込むと、2660万台以上のトラックが必要となり、一列に並べると地球を3周以上する長さになります。さらに工場や会社から出される「ゴミ」は、平成8年度約4億2000万トンで、このような大量の「ゴミ」をなくすためには、多くの時間とお金がかかります。
「ゴミ」をたくさん出さないで再利用(リサイクル)を進めていく社会にしなければなりません。だからリサイクルが大切なのです。そこで、ぼくの家では使い終わったビンを洗って買った所に戻す「リユース」をしています。

牛乳パックから生まれた紙ひも



山結くん
こむすび

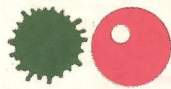


で
古紙をしばればまるごとリサイクル

1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1～6巻400円 7巻～ 600円
箱売り (1箱50巻)	1～9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に含まれます
	10箱～	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所／●横浜市金沢区・緑区・中区・都筑区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすすきや(戸塚区) ●エコロジーショップエッセンス(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦4-10-17)
販売してくださるお店募集中!



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2003年2月現在
日経2/27

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	5~6.5円
雑誌	** 0円	2~2.5円
段ボール	** 0~4円	3円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料
*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格
★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。
取引条件により多少変化します。
★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。
事業所ごとに業者と直接ご相談ください。
★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

出前講師日記 〇月〇日
 昨年の5月から取組み始めた「出張リサイクル教室・出前講師」も一年が経ちました。
 教鞭を執った経験などまったくないリサイクルデザイナーの方たちも、だんだんとそれなりに先生らしくなってきました。いつもは新聞や雑誌・雑紙を、ホコリまみれになりながら回収している方たちです。
 子どもたちに「リサイクルのホント」を知ってもらいたくて、紙はどうやってリサイクルされるか？ガラスは何回リサイクル出来るか？汗をかきながらの授業です。今日も小学校の子どもたちからの質問の嵐に圧倒されつつ、ひとつひとつの疑問に答えしていきます。毎回思うことは、子どもたちの環境問題に対する関心の高さです。
 「なぜリサイクルをするの？」というちよつと意地悪な質問を、今日のリサイクル教室の最後に見てみました。子どもたちはどう答えたと思いますか？
 是非とも、小学校（高学年がよい）と思いますが・・・に通っている子どもたちになすねてみてください。きっと私たち大人が目からウロコが答えが聞けますよ。

編集室から

リサイクルデザインのビデオテープ 「未来を生み出すリサイクル」



このビデオは、暮らしの中から出る資源物（古紙・空き缶等）がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。

●ビデオテープ貸し出し、ご購入のお問い合わせは下記まで。
 横浜市資源リサイクル事業協同組合
 TEL 045-316-4050
 FAX 045-316-6050

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カミン5F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横）・大船店●地酒 篠原屋（港北区篠原）●エコロジーショップエッセンス（中区麦田町）●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店●安田火災海上保険横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店●相鉄ローゼンミツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まさき原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●自然彩食（名古屋）●まじょらむ（港北区綱島）●オーガニックスペースかれん（港北区大倉山）●カフェ社（港北区日吉）●さまま舎（緑区霧が丘）●うどんカフェ（青葉区こどもの国）●横浜国際ホテル（西区南幸）●さくら歯科クリニック（オーケー港北ニュータウン店2F）●リサイクルショップ「トロワの森」●横浜国立大学生協同組合大学館店・工学部店

月刊 リサイクルデザイン No.103

発行日：2003年3月25日

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

発行人：中野聡恭

〒220-0005

編集人：宗村隆寛

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

編集室：戸川孝則・竹澤留美

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

制作：(企)エコ・アド

杉山宜利・芦澤博志・工藤健一

印刷：オリジナルプランニング

栗原清剛・大内 敦



月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

